

Is Another Ice Age Coming?
(氷河期がやってくる?)

P.46

Part 1

サム・ホールは、ニューヨークに友人たちと一緒にいた。

ニューヨークでは、何日間も雨が続けてた。

この町は大波にも襲われた。

サムと友人たちは、ニューヨークの公共図書館に非難した。

サムの父、ジャック・ホールは、ワシントン D.C. にいて、ジャックの事を心配していた。

サムは、図書館の中で公衆電話を見つけた。

そこでは水がすでに膝まできたいた。

電話はまだつながり、父と連絡を取ることができた。

サムはお父さんの声を聞くと、何と言ったらよいか分からず目に涙をためた。

【文章構造: 疑問詞 + to 不定詞】

~, he didn't know what to say and his eyes filled with tears.

「what(how, where, when)+to 不定詞」で「何を(どのように、どこに、いつ)~すべきか」という構文。
全体で名詞の働きをする。本文では、目的語。

「心配してたんだよ、サム。

今どこにいるんだ?

無事なのか?」

「大丈夫だよ。今、ニューヨークの公共図書館にいる。」

水はサムの首まできていた。

「よく聞け、サム。 もうすぐ、大きな吹雪がニューヨークを襲う。

外にいたら人は数秒間で死んでしまう。 外には出るな。

人々を焚いて暖かくしてろ。助けに行くから。 必ず。」